



春

の全国交通安全運動 日立駅前で行われた啓発キャンペーンを実施

4月8日、春の全国交通安全運動（期間＝4月6日～15日）の一環として、日立駅前で行われた啓発キャンペーンが行われました。日立駅前で行われた出陣式では、小川市長が「期間中、市民一人ひとりに交通マナーの遵守を呼びかけていきたい」と挨拶。その後の啓発キャンペーンでは、市や日立警察署、交通安全を推進する関係団体など、およそ50人が参加し、啓発用のチラシやウェットティッシュなどを配りながら、駅の利用者に協力を呼びかけていました。



大

盛況の科学館・天球劇場 入館者 350 万人を達成

4月13日、入館者数350万人を達成した日立シビックセンター科学館・天球劇場の記念セレモニーが行われました。記念すべき入館者数350万人目となったのは、家族と共に科学館を訪れた市内在住の荒 信乃介さん（6歳）。記念品として科学館・天球劇場招待券や家庭用プラネタリウム投影機を受け取った信乃介さんは「とてもうれしい。3歳の頃から家族と一緒に来ている。将来は科学者になりたい」と話してくれました。

中

里のリンゴやブドウを次世代に 果樹栽培を学ぶ「中里フルーツ塾」を開講

4月13日、果樹栽培のノウハウを学ぶ研修の場「中里フルーツ塾」の開講式が行われました。同塾は、地域ブランド認定品である中里のリンゴやブドウの後継者不足を解消し、中里地域の活性化を図ろうと設立されたものです。開講式には2人の塾生が出席し、「早く自立できるよう頑張りたい」と抱負を述べました。今後は市とJA常陸、県、生産者が協力しながら栽培指導などを行い、塾生が果樹園の担い手としての一歩を踏み出せるようサポートしていきます。



日

立メディカルセンター看護専門学校 看護師を目指す49人が入学

4月3日、日立メディカルセンター看護専門学校の入学式が、日立シビックセンターで行われました。式では、入学生49人を代表し、小澤実幸さんが「看護学生としての自覚や責任を持ち、仲間と励まし合いながら全力で努力していく」と宣誓の言葉を述べました。また、同じく入学生の平田千紘さんは「地域に密着した学校であることにひかれてここを選んだ。命を預かる現場で働けるよう、気を引き締めて学びたい」と意気込みを語りました。

